

4 芽室町

1 地域の概要

指定地域	芽室町
拠点校	芽室小学校
連携校	芽室西小学校・芽室南小学校・上美生小学校 めむろかしわ保育園・めむろてつなん保育所・ひだまり保育所・上美生保育所 ・芽室幼稚園・北明やまざと幼稚園
組織体制等	幼保小連携・接続推進協議会（幼児教育施設長、小学校長、町子育て支援課）

2 事業スタート時の現状と課題

- 芽室町の発達支援システムに、幼保小連携を目的とした「保育と教育の架け橋を創るカンファレンス」を年3回位置付け、幼児児童の生活、発達、学びに関わる情報交換を行っている。
- 「保育と教育の架け橋を創るカンファレンス」が、保育内容と教育内容に関わる情報交換や研修の場として活用できていない。
 - 幼児教育施設の担任は、小学校での取組に対する関心が高いが、小学校の学級担任は、幼児期の情報・保育内容への関心が低い傾向が見られる。
- 合同の学習会に多くの職員が参加するようになり、幼児教育施設と小学校の幼保小連携の意欲が高まっている。
- 幼保小連携のための取組を一層充実させるために、他市町村の取組などの具体的な情報提供が必要である。

3 年間スケジュール

	家庭	教育委員会	学校	幼・保	発達支援センター
10月	就学通知 検査の案内	就学児 名簿作成	学校見学 (通年)	所属所訪問	学校見学 (通年)
				保育と教育の架け橋を創るカンファレンス①	
11月	就学時健診			巡回相談	
				教育支援委員会	
2月	一日入学			巡回相談	
				保育と教育の架け橋を創るカンファレンス②	
				教育支援委員会	
3月				要録引き継ぎ	
4月	入学				児童クラブ 引き継ぎ
6月					保育と教育の架け橋を創るカンファレンス③

4 事業終了後の体制づくり

幼児教育施設と小学校から事業の継続に係る要望があるため、「保育と教育の架け橋を創るカンファレンス」や「個別の支援計画の作成」を芽室町の子育て支援システムに位置付け、継続して行うことができる体制の構築を図る。

① 幼児・児童の交流～芽室町～

- 一日入学の授業参観時に、年長の幼児と小学校第1学年の児童の交流の時間を設定した。交流の際に、児童から工作を教えて幼児と一緒に作ったり、遊び広場を開催したりするなど、年長児が安心して入学を迎えることができるように工夫した。



【小学生がコマ作り教える様子】



【小学校生活に関するクイズの様子】

- 小学校第5学年の児童が保育所の年長児に、小学校に関するクイズを行う交流を総合的な学習の時間に設定した。第5学年は、次年度に第6学年として、第1学年のお世話をするため、年度内に関係をつくり、円滑な関わりにつなげることをねらいとするなど、活動内容を工夫した。



【年長児に案内状を渡す様子】

- 第1学年の児童が保育所の年長児に、小学校で行うお祭り活動の招待状を届ける交流の時間を設定した。第1学年の児童は、昨年度まで過ごしていた保育所に先輩として訪れることにより、誇らしげに伝える様子が見られた。また、小学校のお祭り活動当日は、年長児が参加し、児童と交流を深めた。

- 町内にある4つの小学校は、学校の規模や幼稚園、保育所までの距離などの条件が異なるが、それぞれの環境に応じて、積極的に交流の機会を設定すること。小学校と幼稚園、保育所が隣接している場合は、幼児と児童が短時間に行き来ができるため、一層交流を深めることができる。
- 卒園後に入学する小学校が複数ある保育園では、自分が入学する小学校を意識できるように、バス遠足の際に各小学校の前を經由して目的地に向かうルートを考えたり、児童クラブの施設を休憩場所として利用したりするなどの工夫を行うこと。



【成果】

- 年長児が一日入学の前から、小学校の場所を知ったり、小学校の児童と関わったりする機会があることにより、幼児が小学校入学に向けて安心感を高めることにつながった。
- 各幼児教育施設や小学校が実施可能な条件の中で、交流の時間の充実が図られるように学習活動の工夫を行った。

【今後の見通し】

- 各幼児教育施設や小学校において、行われた交流の内容を紙面等で情報共有し、交流に関する活動内容が充実するようにする。



②保育者・教職員の交流～芽室町～

【幼児教育施設及び小学校の教職員等による合同の研修会】

テーマ「5歳児と1年生の今、芽室町の幼保小連携～年長児担当・1年生担当になった時におさえたいポイント～」

- 当日は、町内外の幼児教育施設及び小学校から50名を超える教職員等が参加し、芽室町の幼保小連携の取組及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を確認するとともに、実践発表として、ひだまり保育所による年長児のことは遊びや役割遊び、描画製作の保育場面の動画視聴や教育委員会による「就学に特別な配慮が必要な子どもが年長になったら」という内容で就学までの流れや学校見学、相談事例の紹介を通して、幼小連携の要点について互いの理解を深めることができた。



【小学校の様子を紹介した写真絵本】

- 幼児教育施設の年長児が小学校の様子を知り、小学校での学校生活に見通しがもてるよう、推進リーダーと幼児教育施設の教員が連携し、入学する小学校に応じた4種類の写真絵本「もうすぐ1ねんせい～しょうがっこうってこんなところ～」を作成して、推進リーダーが一日入学前の巡回訪問の際に年長児に発表を行った。



【写真絵本】

- 「5歳児と1年生の今～芽室町の幼保小連携～」をテーマとして設定し、幼児教育施設の年長児担任、小学校第1学年の学級担任から、幼保小連携に関わるポイント等の発表を行った。
- 研修会の参加対象者の幅を広げて、発達支援センター職員や町外の関係者に研修会への参加を促した。
- 写真絵本を見た年長児からの意見だけではなく、幼児教育施設の年長児担任や発達支援センター職員の要望を取り入れて、障がいのある児童が静かな場所に移動したり、補聴器を使用したりして学ぶ様子を写真絵本に追加するなど、年長児の安心感が高まるように内容の充実を図った。



【成果】

- 町内外の幼稚園、保育所、小学校、発達支援センターなど、様々な職種の参加があり、それぞれの実践に関わる情報交換を行うことができた。
- 年長児に写真絵本を見せた後に、幼児教育施設の年長児担任が小学校の取組に合わせて、給食の準備の仕方を工夫するなど、小学校生活に見通しがもてるように幼児教育施設と小学校の教員が連携して取り組むことができた。

【今後の見通し】

- 様々な職種から、幼保小連携・接続の推進に関わるニーズを集約し、実践交流を含めた学習会を実施するなど、合同の研修会における内容を工夫する。
- 事業終了後は、各幼稚園・保育所に写真絵本を配布し、年長児の担任が活用できるようにする。

③効果的な引継ぎ～芽室町～

- ・幼児教育施設と小学校の引継ぎを目的に「保育と教育の架け橋を創るカンファレンス」を年3回行った。



【小学校の職員による保育参観】

- ・3回目は、小学校入学後の6月に前年度までの幼児教育施設の担任等が小学校に出向き、担当していた児童の学習の様子を授業参観し、参観後に小学校の学級担任と情報共有を行った。

- ・1回目と2回目は、小学校の職員が幼児教育施設に出向き、9月に特別支援学級に在籍する予定の児童、2月に全ての幼児の引継ぎを行った。



【幼児教育施設の職員による入学後の授業参観】



- ・保育要録等の文書による引継ぎだけでなく、保育所、幼稚園、小学校、児童クラブ及び発達支援センターの職員が連携し、幼児児童に関する職員が直接、情報共有できる場面をつくるようにした。

【成果】

- ・「保育と教育の架け橋を創るカンファレンス」が、町内の取組として定着したことにより、カンファレンス後にも、幼児児童の情報を電話や訪問等で情報共有できる職員間の連携体制が構築された。

【今後の見通し】

- ・関係する職員が、互いの教育現場に実際に出向いて幼児児童の様子を参観したり、交流したりできる体制を継続できるようにする。



④スタートカリキュラムの充実～芽室町～

- 各小学校の第1学年学級担任が週案のベースとして活用できるように、幼小連携・接続推進リーダー教諭が配慮のポイントを記載した「スタートカリキュラム(案)」を作成し、配付した。
- 第1学年の学級担任が活用できるように、推進リーダー教諭が生活科の学習内容やワークシート等の教材を紹介し、各小学校で情報共有した。
- 各小学校の取組を交流できるようにするために、声の大きさや発表方法の視覚化など、児童に分かりやすい掲示物の写真等を推進リーダーが通信等で紹介した。

【声の大きさ、発表方法の視覚化】



【見通しにつなげる
時間割の視覚化】



【時間の意識につなげるための工夫】



- 6才児の発達段階と幼児期の経験を幼児教育施設と小学校の職員が共通理解し、小学校入学後に幼児児童が学習用具、ことば、生活の仕方を安心して身に付けるための学習環境の工夫を行い、成果があった取組を町内で共有した。

【成果】

- 推進リーダーが幼稚園及び保育所、小学校を巡回訪問で把握した取組を通信に掲載するなど、間接的な情報交流を進めた。
- 「ヒント集」の中で、生活の中の数、視覚から入る情報、生活の中に見える操作の力など、項目ごとに分類して写真入りでまとめたことにより、幼児教育施設の職員が活用しやすい資料とすることができた。

【今後の見通し】

- 新しく第1学年を担当する教諭でも、円滑に入学式までの準備ができるように、「スタートカリキュラム(案)準備編」を作成して配付する。
- 幼稚園及び保育所に、小学校の様子を紹介した写真絵本「もうすぐ1ねんせい～しょうがっこうってこんなところ～」を配付し、年長児の担任が活用できるようにする。

1年生スタートカリキュラム 第1週

4月	9日	10日	11日	12日	13日	15日
曜日	月	火	水	木	金	日
行事	着任式 始業式 入学式	下校指導 職員会議	学年打合	職員会議	1年生給食開始 児童会	参観日 PTA総会 学級懇談
1	がっかつ 挨拶の練習 ・トイレ など	○緊張しがちな入学直後、幼稚園や保育園で経験したことを取り入れて安心感を ・手遊びうた・ことば遊び・読み聞かせ・歌など ○自分で出し入れする物が幼児期より膨大になっています				
2	にゅうがくしき ・9:55登校 ・10:00開式					
3		下校指導 どうとく	下校指導 こくご	下校指導 どうとく		
4	○初めて自分で登校し学習準備をする日です。 ・児童玄関から教室までのルートがわかる・自分の靴箱・上着掛け・ロッカーがわかる。 ○トイレの使い方(チャイムで休み時間がわかる) ○学習道具を準備する手順がわかるように ○学習道具の名前や校内の場所を伝えましょう(教科書・ノート・教室・黒板・体育館) ○下校方向の確認 通学路を歩くこと					がっかつ 給食準備
5	○給食の準備 幼児期に経験していますがエプロン・三角巾・ランデマットは初めて食器の重さ、箸のサイズも違います。 ○食器の並べ方は視覚教材を利用して					
下校	11:30	11:00	11:00	11:00	13:15	9:30
バス	11:45	11:20	11:20	11:20	13:30	10:00
時数	2	3	3	3	4	1
持物など						
連絡事項など	<ul style="list-style-type: none"> ◎ご入学おめでとうございます ◎本日の配布物について ◎担任1年団紹介 ◎持たせてほしいもの ◎集団下校について ◎4月の行事予定 ◎給食について 					

- 幼児教育施設の年長児担任が活用できるように、推進リーダーが小学校入学後のスタートカリキュラムにつながる保育の取組を「ヒント集」としてまとめて、各幼稚園、保育所に配付した。